

令和 5 年度事業計画・評価シート

1. 【沖縄県】 令和 5 年度事業計画・評価シート 1
2. 【那覇市】 令和 5 年度事業計画・評価シート 21

1. 【沖縄県】令和5年度事業計画・評価シート

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	4	計画/評価年度	令和5年度
施策 古都首里を感じる空間の創出 ①古都首里を感じられる良好な景観形成の推進			
事業名	無電柱化推進事業（県道49・50号線）	事業主体	県(道路管理課)
事業期間	(事業中)平成25年度～	関係機関	
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興公共投資交付金:無電柱化推進事業 沖縄振興特別推進交付金:無電柱化推進事業(要請者負担方式)		
事業概要	当路線は、世界遺産である首里城公園や玉陵への交通アクセスの要所となっており、観光地としても認知されていることから、周辺の景観向上を目的に整備を実施している。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前期（5年）					後期（5年）
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
調査(文化財)			設計		工事

【当該年度計画】

今年度の取組内容	該当路線において埋蔵文化財が確認されているため、引き続き関係機関との協議を実施する。
----------	--------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	関係機関等と無電柱化の推進における課題等を協議した。引き続き、関係機関と調整していく。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上/2. 60～79%/3. 40～59%/4. 39%以下)
課題と対応方針	・文化財調査の時期について、設計後に再度調整が必要。 ・実施方法についても関係機関と引き続き調整していく。

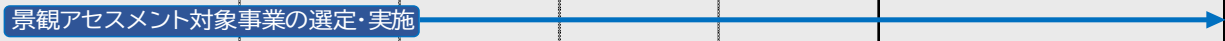

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No5.11		計画/評価年度	令和5年度
施策 古都首里を感じる空間の創出 ①古都首里を感じられる良好な景観形成の推進			
事業名	公共事業における景観アセスメント 沖縄らしい風景づくりに係る人材育成	事業主体	沖縄県 都市計画・モノレール課
事業期間	(事業中)平成24～	関係機関	那覇市都市計画課 沖縄県首里城復興課
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】 沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金)、県単独事業・景観形成推進事業		
事業概要	普遍的観光資源である沖縄独自の風景・まちなみ景観の創生を図るため、沖縄らしい風景づくりに必要な人材育成や地域景観の向上に係る合意形成、良質な公共空間の創出に向けた取り組みを行い、市町村における景観地区の指定等を促進する。 【事業内容】①シンポジウムの開催等広報啓発②風景づくりに係る人材育成③公共事業における景観アセスメント④景観向上に係る建築技術等研究開発⑤”美ら島沖縄”風景づくり協議会の運営		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前期 (5年)					後期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
景観アセスメント対象事業の選定・実施 					
人材育成・シンポジウム等の計画・実施等 					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	①沖縄県景観評価委員会の対象事業として選定した首里城公園管理棟増築・改修工事において、引き続き景観アセスメントを実施する。②首里ニシカタ地区、首里三箇地区において沖縄らしい風景づくりに係る人材育成を実施する。③風景づくりに関する県民の意識の向上や知識の普及を図るため、シンポジウムを開催する。④”美ら島沖縄”風景づくり協議会にて首里城周辺地区を”美ら島沖縄”風景づくり先導地区として認定し、景観に係る事業や取り組み等について情報を共有・発信する。
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	①首里城公園管理棟増築・改修工事の実設計段階における景観検討を実施した。②首里三箇地区(鳥堀、崎山、赤田)、首里ニシカタ地区(大中、当蔵、池端)で人材育成を実施しており、令和5年度中に活動を終える予定で、計画通りに進んでいる。③「歌に詠まれた沖縄の風景 今と未来」と題して沖縄らしい景観まちなみづくりシンポジウムを開催した。④”美ら島沖縄”風景づくり協議会にて首里城周辺地区を”美ら島沖縄”風景づくり先導地区として認定し、景観に係る事業や取り組み等について情報を共有・発信した。
進捗状況	■1. 想定通り順調 □2. 概ね順調 □3. やや遅れ □4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	①首里城公園管理棟設計段階における景観検討内容を施工段階へ反映させるため、施工段階への引き継ぎを密に行う。②活動内容の決定までに時間を要したため、次年度の計画は円滑に事業を進めるとともに首里杜まちづくり推進協議会内で関連事業との連携・共有を密に図りたい。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



”美ら島沖縄”風景づくり先導地



ニシカタ地区案内板設置場所検討の様子

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	15	計画/評価年度	令和5年度
施策	歴史文化資源等の保全・整備・活用 ①幅広い歴史文化資源の再評価と保存・活用		
事業名	第32軍司令部壕保存・公開事業	事業主体	沖縄県 女性力・平和推進課
事業期間	(事業中)令和2年度～	関係機関	沖縄県 特命推進課ほか
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	県単独事業 第32軍司令部壕保存・公開事業		
事業概要	沖縄戦の軍事的中枢施設であった第32軍司令部壕は、沖縄戦の実相を次世代に語り伝えるために極めて重要な歴史的戦跡であることから、同壕の保存・公開に向けて必要な詳細調査や平和発信・継承等の取組を行うとともに、専用ホームページ等を活用し情報発信を行う。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
有識者委員会 における検討	詳細調査及び平和 発信・継承の取組等				

【当該年度計画】

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度末の有識者委員会提言を踏まえて、壕の保存・公開基本方針を策定する。 ・壕の内部や周辺の詳細調査を実施する。 ・地域住民の方々へ第32軍司令部壕の保存・公開に向けた県の取組について説明を行う。 ・周知啓発資料等を作成する。
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・壕の保存・公開基本方針を令和5年7月に策定した。 ・壕の内部や周辺の詳細調査を実施中であり、令和5年度末までに各調査結果を報告予定。 ・地域住民の方々に対して、首里杜まちづくり推進協議会や首里自治会長連絡協議会等の場において第32軍司令部壕の保存・公開に向けた県の取組について説明を行った。 ・編さんWGを設置し周知啓発資料等を作成中。令和5年度末までに完成予定。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

第32軍司令部壕保存・公開基本方針(令和5年7月18日策定)【概要版】

I 基本理念

沖縄戦の軍事的中枢施設であった第32軍司令部壕は、住民を巻き込み果敢な戦闘が展開された沖縄戦の実相を次世代に語り伝えるために極めて重要な歴史的戦跡である。

保存・公開検討委員会の提言を踏まえ、沖縄の歴史と風土の中で培われてきた平和を継承する「沖縄のこころ」を広く国内外へ発信し、アジア・太平洋地域における平和発信機軸の形成及び、沖縄戦の実相と教訓の次世代への継承を進めるため、「第32軍司令部壕保存・公開基本方針」を定める。

II 基本的な考え方

第32軍司令部壕の保存・公開にあたっては、壕の全体的な把握するため、関係法令に基づき、有効な調査・整備方法を検討する。

第1坑口及び第3坑口の保存・公開に向けた取組を優先的に進めながら、詳細調査の結果を踏まえ、安全性を確保しつつ段階的な壕の保存・公開に向けて取り組む。

第32軍司令部壕を戦跡の中核とした、平和発信のための取組を進める。

III 基本方針

- 文化財指定への取組
沖縄戦に関する戦争遺跡としての文化財指定
- 文献資料等を活用した平和発信・継承
(1) 調査研究事業
文献資料や証言記録の収集
- 平和教育・学習への利活用
(1) 展示活動
住民の視点に立った展示活動の展開
(2) 平和交流事業
語り部や平和ボランティア等の育成
- 段階的な整備・公開
(1) 壕内の安全確保
壕の劣化進行状況調査の継続
(2) 戦争遺跡としての保全
定期的な点検調査等による壕の状態確認
(3) 詳細調査・整備方針
詳細調査を踏まえた整備方針の作成
- 広報・PR活動
専用ホームページを活用した情報発信
- 推進体制の強化
関係機関による推進連絡会議の設置
- 基本計画の策定・推進
基本方針に沿った基本計画の策定



ボーリング調査(首里城 木曳門近く)

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	16	計画/評価年度	令和5年度
施策	歴史文化資源等の保全・整備・活用 ②拠点資源および周辺の保全・復元・整備		
事業名	首里城復興事業 中城御殿跡地整備	事業主体	沖縄県 首里城復興課
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	沖縄県・那覇市文化財課、都市公園課 ほか
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】社会資本整備総合交付金・公園事業 ※木造復元部分は事業手法調整中		
事業概要	琉球国王時代の世子殿宅である中城御殿跡を公園施設として整備する事業である。 規模：敷地面積約1.1万㎡、延床面積約3,870㎡、4つのエリアで構成 上之御殿エリア(庭園整備)、表御殿西側、御内原エリア(RC造 3,030㎡) 表御殿東側エリア(木造復元 840㎡) ※木造復元部分については次期事業		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
設計		工事			

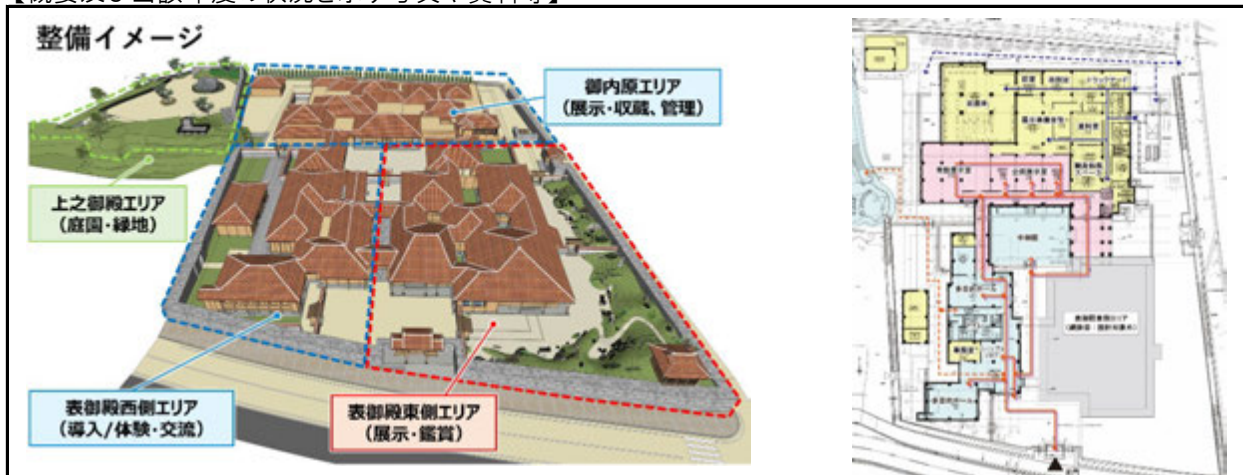
【当該年度計画】

今年度の取組内容	中城御殿跡地整備検討委員会での検討を踏まえながら、令和8年の完成に向け、御内原、表御殿西側エリアの実施設計を行い、令和5年度にとりまとめる。 中城御殿上之御殿エリアの庭園、外構整備については、令和5年度に工事に着工する。
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	令和6年1月までに、中城御殿跡地整備検討委員会を2回、検討部会を3回開催した。御内原・表御殿西側エリアの実施設計にあたり、防災防火機能や、展示収蔵環境、利用者サービスなど、委員会や関係機関とも密に調整しながら、検討を進めており、年度内に事業工程とおり、実施設計をとりまとめられる見込みである。 中城御殿上之御殿エリアの庭園、外構整備については、令和6年3月に着工する見込みである。
進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】 首里城正殿復元工事に合わせ令和8年度までに第一期工事の上之御殿エリア及び第二期工事の御内原・表御殿西側エリアを完成させる事業工程となっており、各種工事や施設供用開始に向け関係機関との密な調整や連携などが課題となる。 【対応方針】 事業工程における各手続きや発注時期、作業期間を明確にし、検討委員会にて関係者と共有した上で、年度ごとの実施項目を確実に実施していく。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	17	計画/評価年度	令和5年度
施策	歴史文化資源等の保全・整備・活用 ②拠点①古都首里を感じられる良好な景観形成の推進		
事業名	円覚寺跡保存整備事業 三門整備工事	事業主体	沖縄県 文化財課
事業期間	令和3年度～	関係機関	
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】文化庁国庫補助事業 歴史生き生き史跡等総合活用整備事業		
事業概要	円覚寺は、尚真王が父尚円王の御霊を祀るために1492年に建立した臨済宗の総本山であり、第二尚氏王代の菩提寺でもあった。琉球第一の巨刹で、総門をはじめ、三門、放生池、仏殿、龍淵殿、鐘楼、獅子窟等が昭和8年1月23日に国宝に指定されたが、去る沖縄戦において破壊された。首里城跡や円覚寺総門、龍潭、円鑑池等の史跡の整備などとの整合性を図り、その保全と活用・公開等を目的に三門復元に取り組んでいる。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度

【当該年度計画】

今年度の取組内容	令和3年度から円覚寺三門整備工事に着手しており、令和5年度も整備を進め、令和9年度までに完成する見込み。
----------	------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	円覚寺三門復元整備に用いる木材の加工・保管等を実施した。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】 今後は建築工事を実施予定のため、工事工程の検討や文化庁への申請等をスムーズに行う必要がある。 【対応方針】 建築工事業者や文化庁と綿密な調整を行い、円滑な事業実施を行う。

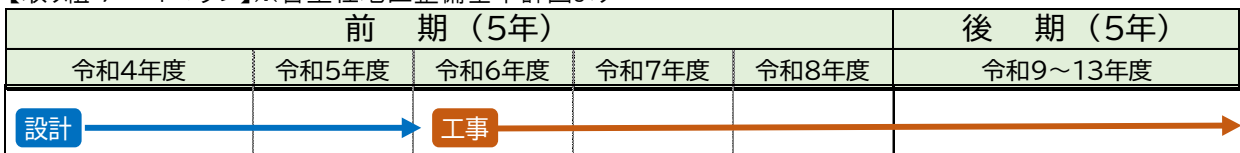
【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

図1 円覚寺三門完成予想図	図2 円覚寺三門復元整備箇所

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	18	計画/評価年度	令和5年度
施策	歴史文化資源等の保全・整備・活用 ②拠点資源および周辺の保全・復元・整備		
事業名	龍潭周辺整備(松崎馬場、世持橋等)	事業主体	沖縄県 首里城復興課
事業期間	令和4年度～13年度	関係機関	県 都市公園課 南部土木事務所
首里杜まちづくり 推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】社会資本整備総合交付金・公園事業		
事業概要	公園種別:総合公園 公園面積:13.8ha (他国営公園区域4.0ha) 供用開始面積:7.21ha 県営公園区域の主な施設:総合休憩所、地下駐車場、園路、広場など 総事業費:236億円 都市計画決定:昭和62年(当初)、平成26年(変更)		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より



【当該年度計画】

今年度の取組内容	都市公園課が首里城公園区域の都市計画変更手続きを行うため、実施設計が完了した松崎馬場の必要資料を都市公園課に提供し、計画変更手続きの連携する。 龍潭周辺の地域利用の観点を踏まえ、龍潭線側や城西小学校側も含めた龍潭周辺の整備に係る地域の要望を確認していく
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	都市公園課が首里城公園区域の都市計画変更手続きを行うため、実施設計が完了した松崎馬場の必要資料を都市公園課に提供し、計画変更手続きの連携を行った。 龍潭線側や城西小学校側も含めた龍潭周辺の整備に係る地域の要望についてテーマ活動を2回実施し、意見を取りまとめて、地域より要望を提言される予定
進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上/2. 60～79%/3. 40～59%/4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】地域の要望に対し、関係部署と連携し、実施可能か検討していく必要がある。 【対応方針】実施可能な事業については、実施に向けて予算要求等を行って行き、取り組んで行く。時間を要するような事業の場合は、課題解決に向けて、引き続き地域と協議を図っていく。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	20-1	計画/評価年度	令和5年度
施策	歴史文化資源等の保全・整備・活用 ②拠点①古都首里を感じられる良好な景観形成の推進		
事業名	指定文化財周辺の環境整備 南城郭、継世門等の修復保全	事業主体	沖縄県文化財課
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	内閣府沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園 事務所首里出張所 沖縄県首里城復興課
首里杜まちづくり 推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金) 首里城復興事業(※細事業名:首里城跡景観整備事業)		
事業概要	首里城跡城郭の目地開きによる変状や各櫓の経年劣化により、首里城跡の景観を著しく損ね、観光客や地域住民を危険にさらす要因に対し整備することにより、危険性の除去および景観の回復を図ることを目的とする。 令和8年度の首里城正殿復元完了に向け、現在、様々な整備事業が進められている。国が進める首里城正殿復元事業と併せて実施することにより、早期に危険性の除去と景観の回復に努める。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
調査・設計・工事等(順次実施)					→



【当該年度計画】

今年度の取組内容	<p>【R5年度取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から継続して実施している南城郭石垣の修復工事を実施する。 ・劣化が進む継世門櫓を修復し、危険性の除去及び景観を保全する。
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	<p>(南城郭石垣修復工事) 令和5年12月までに、南城郭部の石積修復が70%完了した。残りの部分は関連工事等も含め、令和6年上半に完了予定となっている。 (継世門櫓修復工事) 崩落飛散の恐れがあった屋根部分と外装材の修復が完了した。</p>
進捗状況	<p><input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)</p>
課題と対応方針	<p>【課題】国・県各部署がそれぞれ進める首里城復興に関する諸工事が並行して展開しているため、工程のすり合わせや作業スペースの確保が課題となっている。 【対応方針】工事工程や作業スペースが競合しないように、国や県各部署と綿密に調整を行う。</p>

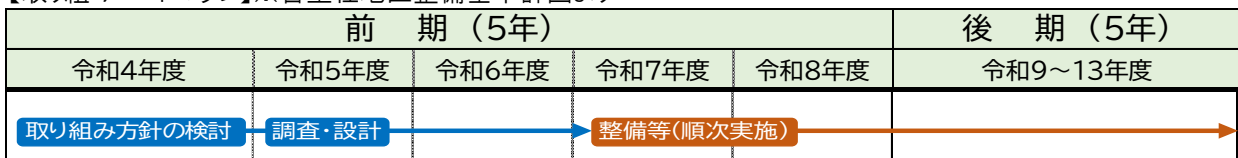
【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

 <p>写真1 修復完了した部分の南城郭石垣</p>	 <p>写真2 継世門櫓の修復工事の実施状況</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	21-1	計画/評価年度	令和5年度
施策	歴史文化資源等の保全・整備・活用 ③歴史文化的資源の魅力向上や新たな資源の創出		
事業名	地域資源の調査及び修景等	事業主体	県 首里城復興課
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	県都市計画モジュール課、 那覇市 都市計画課
首里杜まちづくり 推進協議会	<input checked="" type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【県単事業】沖縄振興特別推進交付金		
事業概要	首里杜地区における地域資源の調査及び修景等を行う。 首里杜地区及び周辺において、地域資源の整理をおこなうとともに、資源調査やワークショップを通して身近な資源や新たな資源の発見や再評価をおこなう。また、これらの資源をまちづくりの拠点として活用できるよう、修景や周辺整備事業との連携などを推進する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より



【当該年度計画】

今年度の取組内容	・首里杜まちづくり推進協議会での議論や関係者調整を踏まえ、地域資源を踏まえた首里杜地区の「交通・観光マネジメント計画」を作成する。また、首里杜まちづくり推進協議会において、地域ワークショップなどのテーマ活動を通し、地域資源調査、周遊のあり方検討、交通・観光マネジメント計画の検討にフィードバックする。
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	地域資源案内検討を2回テーマ活動実施し、優先的に案内する地域資源の選定にむけた客観的指標案等について意見交換を行った。テーマ活動の成果は、今年度策定予定の交通・観光マネジメント計画に反映させる見込みである。
進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】 首里杜地区にふさわしい交通・観光マネジメントのあり方、暮らしと観光の両立に向けた取り組み検討については、地域や来訪者、関係機関など多様な主体の意見や立場を踏まえた複合的な取り組みや連携が必要不可欠となる。 【対応方針】 今後も引き続き、まちづくり協議会の取り組みを広く周知するとともに、地域資源調査やワークショップなど参加・連携型の取り組みを継続・拡充する。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

首里杜地区整備基本計画 地域資源マップ





首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	22	計画/評価年度	令和5年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	渋滞ボトルネック対策	事業主体	県(道路街路課)
事業期間	平成25年度～	関係機関	沖縄総合事務局 道路建設課
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興公共投資交付金		
事業概要	沖縄地方における道路交通渋滞の緩和を図るため、関係者で組織する沖縄地方渋滞対策推進協議会において、主要渋滞箇所の特定、渋滞の原因分析、対策方針の検討が進められている。 同協議会における対策方針では、近年の道路交通状況を踏まえ、幹線道路等の整備による交通容量拡大を図る取り組みに加え、即効性のある施策を行い、渋滞緩和に向けて取り組んでいくこととしている。 本事業では、即効性のある施策として、主要渋滞箇所における車線構成の見直し、右折レーンの設置・延長等を実施することにより、道路交通渋滞の緩和を図るものである。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
交通量調査、渋滞長調査、対策検討、対策実施(順次実施)、効果検証					→

【当該年度計画】

今年度の取組内容	関係者で組織する沖縄地方渋滞対策推進協議会において、主要渋滞箇所に指定されている首里杜計画外縁部の交差点や区間について、継続的に渋滞状況の調査を行う。 さらに過年度に対策を実施した鳥堀交差点、芸大首里崎山キャンパス前交差点、松川交差点の効果検証を行う。 また、「池端交差点」及び「首里城前交差点」については、同協議会にて主要渋滞箇所として指定するよう働きかける。
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	沖縄地方渋滞対策推進協議会において、過年度に対策を実施した鳥堀交差点、芸大首里崎山キャンパス前交差点、松川交差点を含む首里杜計画外縁部の主要渋滞箇所や区間について渋滞状況の調査を行った。 また、当協議会において、「池端交差点」及び「首里城前交差点」を主要渋滞箇所として指定するよう上程したが、主要渋滞箇所の要件に当てはまらないことが確認されたことから、指定が見送られた。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	今後も引き続き、沖縄地方渋滞対策推進協議会において首里杜計画外縁部の主要渋滞箇所や区間についての渋滞状況調査に取り組む。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	23	計画/評価年度	令和5年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	首里杜館駐車場の大型バス予約制による平準化	事業主体	県 首里城復興課
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	県 都市公園課 美ら島財団、SCSK
首里杜まちづくり推進協議会	<input checked="" type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興特別推進交付金(仮)		
事業概要	首里杜館駐車場を利用する大型バスについて、特に午前中の集中による周辺道路の交通渋滞が生じていた。大型バスの事前予約による時間当たりの台数制限や、混雑情報の共有と平準化を促す取組を推進する。 ・大型バスの事前予約(台数制限、平準化) ・混雑日及び時間帯の共有 ・その他駐車場の適正利用策の検討(身障者対応、混雑緩和策 他)		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
システムの開発	→ 試行	→ 運用			→

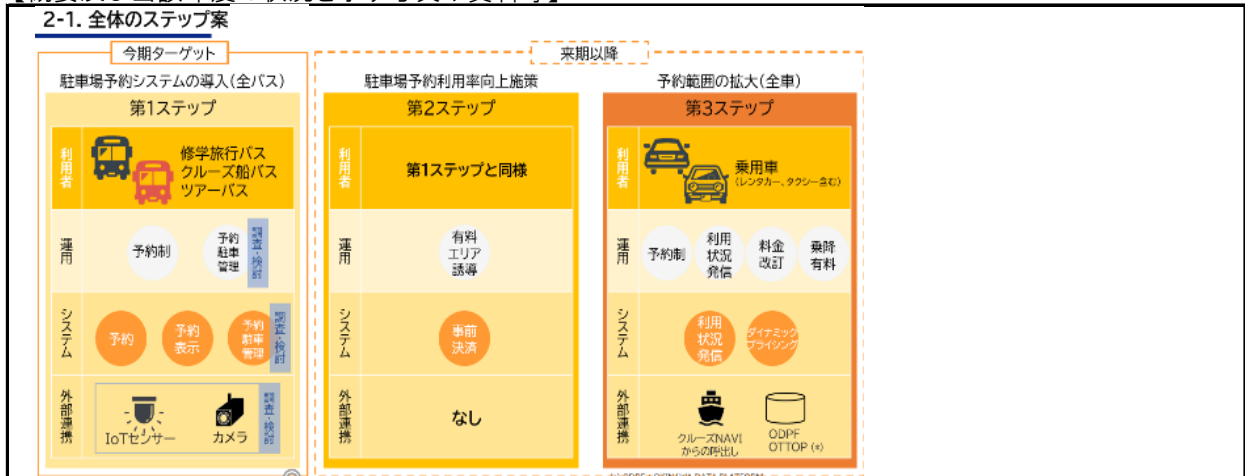
【当該年度計画】

今年度の取組内容	バス予約システムを令和5年7月試行運用した。令和6年度本格運用にむけて課題を抽出、整理し、首里城周辺渋滞緩和に取り組む
----------	-------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	令和5年7月から施行運用開始し、繁忙期の9～11月において、最大駐車台数になった際でも、周辺道路において渋滞は発生することはなかった。今後支払方法を銀行振り込みからクレジット決済に変更していく必要がある。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	・クルーズ船バスは前日まで集客しており、2日前の予約可能時期までに運行台数が確定しないため事前予約に対応出来ていない。 ・定期観光バスは運行が決まっているが、予約可能時期の時点で満車となり予約が出来ない可能性がある。 ・駐車場はバス予約を優先しているため、レンタカー等が駐車できない時間帯がある。 →課題それぞれについて対策検討中

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	24	計画/評価年度	令和5年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	駐車場の満空情報の発信・誘導 (首里杜館及び周辺駐車場)	事業主体	県 首里城復興課
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	県 都市公園課
首里杜まちづくり 推進協議会	<input checked="" type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興特別推進交付金(仮)		
事業概要	・首里杜館駐車場や首里城周辺の民間駐車場の満空情報等を効果的に発信することで、レンタカーなどの公園利用者のウロツキ交通の削減や公共交通利用への行動変異を促す取組を行う。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
運用中	運用中・サービス規模の向上検討				

【当該年度計画】

今年度の取組内容	周辺駐車場を含めた満空情報発信システムを構築するため、他事例調査等を行い、整理し、次年度以降の試行運用に向けて取り組む
----------	-------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	満空情報発信システムを構築するため、次年度以降の試行運用に向けて予算要求している。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	交通渋滞の緩和や利用者満足度の向上に向けては、首里城公園駐車場及び周辺駐車場における満空情報発信が必要となる。 駐車場満空情報発信システムの構築に向けて取り組んでいく

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	25	計画/評価年度	令和5年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	パーク&ライドの推進(てだこ浦西駅、崎山P&R等)	事業主体	首里城復興課
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	県 都市計画・モノレール課
首里杜まちづくり推進協議会	<input checked="" type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名			
事業概要	市街地への交通の流入を抑制するため、郊外に設けられた駐車場に自家用車を駐車し、そこからモノレールやバスレーンなど定時性の高い公共交通を活用して通勤・通学を行う「パーク&ライド」を促進しているが、首里城公園利用者の利用促進策についても検討していく。 ・市街地における交通渋滞の緩和 ・パーク&ライドの利便性の広報等を通し、利用者数の増加を図る てだこ浦西駅パーク&ライド駐車場:992台 首里崎山パーク&ライド駐車場:142台		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
<div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;"> 広報・啓発活動、利用促進策の検討・実施等 </div> →					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	首里城復興祭時に、てだこ浦西駅または首里崎山P&R駐車場から首里城へシャトルバスを実証実験で利用可能か検討する。またその他箇所でもP&R駐車場として利用できる箇所がないかも検討する。
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	首里城復興祭時に、イオン南風原をP&R駐車場としてシャトルバス実証実験を行った。首里城公園～イオン南風原間の平均移動時間も19分程度となった。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	イオン南風原をP&R駐車場としての利活用の可能性は十分あったが、民間企業であるためP&R駐車場としてイベント毎に利用が可能か調整が必要となる。また首里崎山P&R駐車場についても実証実験が可能か検討していく

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

<p>てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場</p> <p>沖縄都市モノレール延長事業の第4駅「てだこ浦西駅」の北側に隣接し、モノレールと自動車のスムーズな乗り継ぎを可能とする等の結節機能を充実させ、自動車から公共交通機関への転換を促進し、交通混雑の緩和及び環境への負荷の低減を図ることを目的に整備された。</p>	
	<p>崎山パーク&ライド駐車場は未実施</p> <p>首里崎山パーク&ライド駐車場</p> 

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	27	計画/評価年度	令和5年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	循環バス、シャトルバス等の導入促進	事業主体	県 首里城復興課
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	県 都市公園課
首里杜まちづくり推進協議会での連携	<input checked="" type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金)		
事業概要	・首里城公園内でのイベント開催時にシャトルバスを運行し、アンケート調査や実態調査を実施することで、公園利用者の行動変容や公共交通利用の促進などの基礎資料の蓄積と効果の分析を実施。 ・結果を踏まえ、公園利用者の受入体制の検討を行う。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
イベント時における実証実験					運用

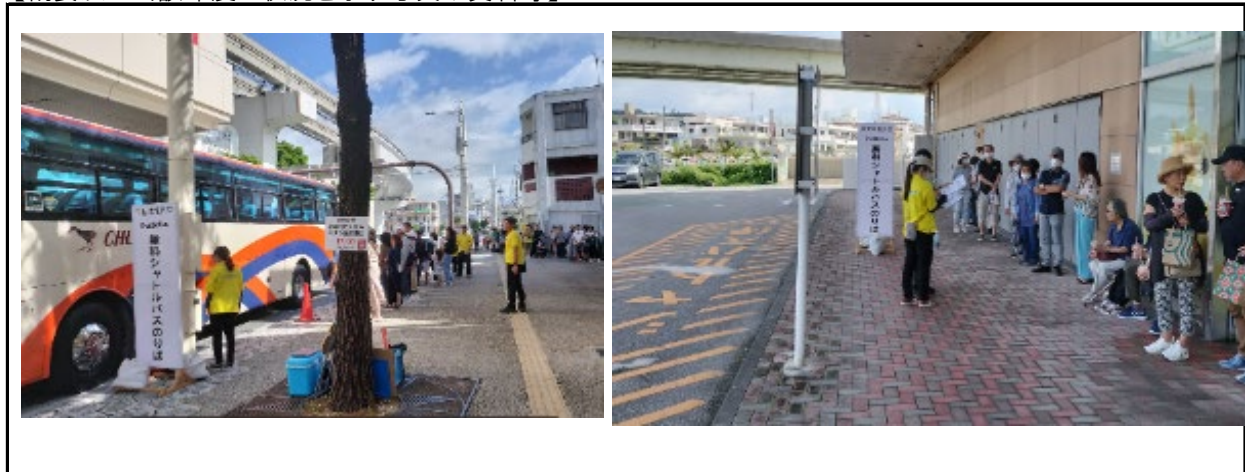
【当該年度計画】

今年度の取組内容	首里城復興祭に合わせてシャトルバスを運行し、アンケート調査や実態調査を実施する。これらの評価・分析結果を踏まえ、令和5年度検討予定の「首里杜地区交通・観光マネジメント計画」に反映する。
----------	----------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	11/3, 4, 5の3日間、首里城復興イベントに合わせてシャトルバスの運行及びアンケート調査を実施した。シャトルバスは延べ6479人が乗車し、アンケート調査も760件の回答が得られ、混雑時における周辺道路の渋滞緩和に有効であることが確認できた。周遊促進や公共交通利用促進などに向けた評価分析を行い、「首里杜地区交通・観光マネジメント計画」に反映予定である。
進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	シャトルバス運行については、一定の利用者数と利用満足度が得られた一方、利用日や利用場所に偏りが見られた。また、バスの運転手が確保出来ない状況がありジャンボタクシーに変更したが、大量輸送が出来ないため長時間乗車待ちの列が発生する事態が起きた。バスの確保等の課題が残った。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	29	計画/評価年度	令和5年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	シェアサイクル等の促進(自転車利用促進策)	事業主体	県(交通政策課) 那覇市(都市計画課)
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	首里城復興課 道路管理者等
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【県単事業】交通体系整備推進事業費		
事業概要	『TDM施策推進アクションプログラム』において、TDM重点エリアとして「首里杜地区観光対策エリア」を定めており、同アクションプログラムに基づき、エリア内において以下のTDM施策を一体的に実施する。 No.29 シェアサイクル等の促進(自転車利用促進策) No.30 モビリティ・マネジメント No.33 ピックデータ等の蓄積、分析、施策立案、効果検証		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
運用中	運用中・サービス規模の向上検討				

【当該年度計画】

今年度の取組内容	那覇市シェアサイクル事業の事業主体(那覇市、運営会社)と連携し、シェアサイクルポートの設置に向けた支援を行うとともに、昨年度、首里杜地区に設置したシェアサイクルポートの利用状況のデータの収集・分析を行う。 また、首里杜地区内における公共交通等の利用促進に向けたモビリティ・マネジメントを進めるための検討を行う。
----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	那覇市シェアサイクル事業の事業主体と連携し、首里杜地区でのシェアサイクルポート設置に向けた支援(管理者等との協議)を実施し、昨年度、首里杜地区に設置したシェアサイクルポート利用状況のデータ収集・分析を実施している。 また、今後のモビリティ・マネジメントを進めるための検討資料として、首里杜地区におけるコロナ前後の交通環境の分析比較を行った。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上/2. 60～79%/3. 40～59%/4. 39%以下)
課題と対応方針	早期のシェアサイクルポートの設置に向けて、事業主体と更なる連携が必要である。 人々の移動(モビリティ)に関する「行動変容」を促すマネジメント施策を推進するためには、最適であろうと考えられる各種技術を取り込む必要がある。 交通環境の比較を実施するにあたり、継続的な基礎データの収集が必要である。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

■シェアサイクルとは

自転車を共同利用する交通システムで、特にコミュニティサイクルは多数の自転車を都市内の各所に設置し、利用者はどこかの拠点(ポート)からでも借り出して、好きなポートで返却ができる新たな都市交通手段。

好きな場所で自転車を借りる

自転車で移動

移動目的の目的地のポートへ自転車を返却
※無料・無料保証人、任意シェアサイクル

シェアサイクルポート設置候補地

① サイクルポート設置箇所の検討

 ・シェアサイクル事業の推進主体より、申請書(利用希望箇所にシェアサイクルポート設置箇所の候補地を申請、申請書(交通環境)にて現状を調査、立派な道路の検討)

② 用地管理者との調整

 ・関係機関、交通関係等において用地管理(内)内路土主事等の調整(用地等)の調整を行い(調整)の調整
 ・サイクルポート設置の申請、点検許可申請方法について調整

③ 占用許可の申請

 ・シェアサイクル事業の実施主体(申請書)より、サイクルポート設置箇所及び点検許可申請について調整(調整)

④ 道路使用許可の申請

 ・点検許可申請とあわせて、必要に応じて交通関係等への道路使用許可申請(シェアサイクル設置)申請

⑤ サイクルポートの設置(運営、維持、管理)

 ・シェアサイクル運営主体より、申請書(利用希望箇所にシェアサイクルポート設置箇所)の設置、営業(点検)制度で運用開始

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	30	計画/評価年度	令和5年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	モビリティ・マネジメント	事業主体	県(交通政策課) 那覇市(都市計画課)
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	首里城復興課
首里杜まちづくり 推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【県単事業】交通体系整備推進事業費		
事業概要	『TDM施策推進アクションプログラム』において、TDM重点エリアとして「首里杜地区観光対策エリア」を定めており、同アクションプログラムに基づき、エリア内において以下のTDM施策を一体的に実施する。 No.29 シェアサイクル等の促進(自転車利用促進策) No.30 モビリティ・マネジメント No.33 ピックデータ等の蓄積、分析、施策立案、効果検証		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
モビリティ・マネジメント、交通マナーの啓発					→

【当該年度計画】

今年度の取組内容	那覇市シェアサイクル事業の事業主体(那覇市、運営会社)と連携し、シェアサイクルポートの設置に向けた支援を行うとともに、昨年度、首里杜地区に設置したシェアサイクルポートの利用状況のデータの収集・分析を行う。 また、首里杜地区内における公共交通等の利用促進に向けたモビリティ・マネジメントを進めるための検討を行う。
----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	那覇市シェアサイクル事業の事業主体と連携し、首里杜地区でのシェアサイクルポート設置に向けた支援(管理者等との協議)を実施し、昨年度、首里杜地区に設置したシェアサイクルポート利用状況のデータ収集・分析を実施している。 また、今後のモビリティ・マネジメントを進めるための検討資料として、首里杜地区におけるコロナ前後の交通環境の分析比較を行った。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	早期のシェアサイクルポートの設置に向けて、事業主体と更なる連携が必要である。 人々の移動(モビリティ)に関する「行動変容」を促すマネジメント施策を推進するためには、最適であろうと考えられる各種技術を取り込む必要がある。 交通環境の比較を実施するにあたり、継続的な基礎データの収集が必要である。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

コロナ前後の交通環境の分析比較

2019年7月

2021年7月

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	31	計画/評価年度	令和5年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	観光2次交通利用促進事業	事業主体	民間事業者 市町村
事業期間	令和5年度～令和7年度	関係機関	
首里杜まちづくり 推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	観光2次交通利用促進事業(補助事業)		
事業概要	沖縄観光の交通手段については、レンタカーが主流となっているものの、国際線の復便や車の免許を持たない観光客の観光2次交通を確保するため、繁忙期において、市町村、旅行事業者、交通事業者等が行う観光2次交通の確保(観光施設や観光地域を結ぶ運行等)に要する経費に対し、補助金を交付する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
観光客の受入体制等の整備					DXの推進、観光交通対策、バス乗降場、P&R駐車場等

【当該年度計画】

今年度の取組内容	今年度の補助事業として、波之上～国際通り～首里城の区間を運行(1日7便、うち首里城行きは4便。運行期間は令和5年7月21日から令和5年8月20日までの31日間)する琉球バス交通に対し、補助金を交付している。 今後も首里城と観光施設を結ぶ区間等に対し、補助金の交付申請があれば、申請書類を確認のうえ、補助金を交付する予定。
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	駐車場が狭隘である首里城等の観光施設については、本補助事業なども利活用して頂き、観光客の受入体制の整備に努めていきたい。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上/2. 60～79%/3. 40～59%/4. 39%以下)
課題と対応方針	今回、補助金を交付している琉球バス交通の運行について、首里城の駐車場をバスの乗降場としているものの、令和5年8月から駐車場の予約が完全予約制に移行したことに伴い、今後、同様な運行(ダイヤが決まっているバスの運行)については、駐車場の予約及び料金支払いについて、一括して事務処理出来ないかの相談があった。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

<p>[事業概要]</p> <p>(1) 補助対象者</p> <p>ア 一般乗合旅客自動車運送事業の許可を受けた事業者</p> <p>イ 一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けた事業者と契約のうえ、旅行商品としてバスを運行する旅行事業者(旅行業の登録を受けた事業者)</p> <p>ウ 道路運送法第21条第1項第2号に基づき、一時的な需要のため国土交通大臣の許可を受けた事業者</p> <p>エ 市町村(上記許可を受けた事業者と契約のうえ、バス等を運行する市町村)</p> <p>(2) 対象期間 令和5年7月15日から令和5年10月31日まで ※ただし、知事が認める場合は期間を延長することがある。</p> <p>(3) 補助率 1/2(ただし、2年目は1/3、3年目は1/4)</p> <p>(4) 上限額 300万円/台(ただし、車種の大きさや運行日数等により異なる)</p> <p>(5) 補助対象経費 バス等の運行に必要な人件費、燃料費、車両維持費、バス等の確保(購入費を除く)に要する経費、営業に要する経費</p>

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	31	観光地マネジメントの推進	計画/評価年度	令和5年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善			
事業名	観光客の受入体制等の整備 (DXの推進、観光交通対策、バス乗降場、P&R駐車場等)	事業主体	沖縄県 首里城復興課、観光振興課	
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関		
首里杜まちづくり推進協議会	<input checked="" type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み	
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興特別推進交付金(仮)、県単独費			
事業概要	・観光客の増加による交通渋滞による地域への交通・生活環境などのマイナスの影響への対策や、観光客の満足度向上を目的に、観光客の受入体制の環境整備を推進する。 ・DXを活用した質の高い観光の推進 ・ICTやデジタル技術等の活用による利便性向上、誘導・案内・ビッグデータ等のエビデンスに基づく対策や検証 ・イ受入環境の改善・公共交通の利用促進策の検討と大型バスの分散・平準化などの検討・P&R、バス乗降場等の検討 他			

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
観光客の受入体制等の整備 DXの推進、観光交通対策、バス乗降場、P&R駐車場等					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	首里城復興イベント時のシャトルバスの運行についてSCSKと連携し、利用者に対する各種情報発信、満足度アンケート収集などデジタル技術を活用した仕組みを検討する(首里城復興課)
----------	----------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	連携協定に基づく実証の一環でSCSKが仕組みを構築し、首里城復興祭のシャトルバス運行にて一部優先乗車予約を導入することで、利用者の満足度向上や渋滞緩和、バス利用の時間分散に寄与した。同時に、特設サイトにて周遊情報を発信し、周辺地域への回遊を促すことができた。(首里城復興課)
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	シャトルバス運行に関する特設サイトの認知・利用割合が十分とはいえない結果であったため、次年度以降の取り組みにて、必然性の醸成や効果的な周知・動線設計について検討を行う。また、周遊情報発信について、認知・利用・行動を追跡確認する仕組みを検討する。(首里城復興課)

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	32	計画/評価年度	令和5年度
施策 古都首里を感じる空間の創出 ①古都首里を感じられる良好な景観形成の推進			
事業名	サステナブル、レスポンシブル、ユニバーサルツーリズムの推進	事業主体	県 首里城復興課、観光振興課、市町村、DMO、観光関連事業者
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	覇市 都市計画課、地域団体、琉球大学
首里杜まちづくり推進協議会	<input checked="" type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興特別推進交付金、県単独費、沖縄県観光振興基金		
事業概要	首里の観光のあり方について、地域と連携してサステナブルやレスポンシブルツーリズムなどの視点を踏まえた検討を行い、首里杜地区の総合的で持続可能な交通・観光マネジメントを推進する。 【取組事項】自然環境の保全、地域の文化・生活環境を尊重した観光地マネジメントの推進・主要拠点施設へのアクセス動線と案内等の検討・周遊観光のあり方検討(場所、ルート、住民生活への配慮)・観光客に対する”責任ある旅行者”としての行動を求める取組の検討。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前期 (5年)					後期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
首里観光のあり方検討					
周遊、案内サインやICTを活用した案内策など					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	世界から選ばれる持続可能な観光地」を形成するため、サステナブルツーリズムを推進するとともに、旅行者と地域住民が沖縄観光の価値を共有し、自然環境、地域文化、生活環境への影響に十分配慮したレスポンシブルツーリズムに取り組む仕組みづくりを構築する。
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	特定の観光施設における観光諸問題をアンケート調査等において把握することができた。引き続き地域における協議会等と連携し、課題に対する適切な対処法を構築していきたい。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	観光客と地域住民のニーズの調和が課題であることから、観光客がその地域のルールを理解した上で観光をするレスポンシブルツーリズムを推進するとともに、地域協議会と連携した取組を強化していく。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県内実態調査 対象：観光諸問題発生地域、サステナブルツーリズム取組実施エリア ○サステナブルツーリズム検討委員会 サステナブルツーリズム推進に係る課題整理及び課題解決手法の構築 ○サステナブルツーリズム推進体制の構築 県内実態調査及び検討委員会の内容を踏まえ観光諸問題の解決手法を構築 ○普及啓発活動 検討委員会で整理した沖縄ならではのサステナブルツーリズムの概念を観光関連事業者等へワークショップを通じて周知

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	33	計画/評価年度	令和5年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	ビッグデータ等の蓄積、分析、施策立案、効果検証 (TDM施策推進アクションプログラム)	事業主体	県(交通政策課)
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	首里城復興課
首里杜まちづくり 推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【県単事業】交通体系整備推進事業費		
事業概要	『TDM施策推進アクションプログラム』において、TDM重点エリアとして「首里杜地区観光対策エリア」を定めており、同アクションプログラムに基づき、エリア内において以下のTDM施策を一体的に実施する。 No.29 シェアサイクル等の促進(自転車利用促進策) No.30 モビリティ・マネジメント No.33 ビッグデータ等の蓄積、分析、施策立案、効果検証		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
TDMデータ分析プラットフォームの活用					→

【当該年度計画】

今年度の取組内容	那覇市シェアサイクル事業の事業主体(那覇市、運営会社)と連携し、シェアサイクルポートの設置に向けた支援を行うとともに、昨年度、首里杜地区に設置したシェアサイクルポートの利用状況のデータの収集・分析を行う。 また、首里杜地区内における公共交通等の利用促進に向けたモビリティ・マネジメントを進めるための検討を行う。
----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	那覇市シェアサイクル事業の事業主体と連携し、首里杜地区でのシェアサイクルポート設置に向けた支援(管理者等との協議)を実施し、昨年度、首里杜地区に設置したシェアサイクルポート利用状況のデータ収集・分析を実施している。 また、今後のモビリティ・マネジメントを進めるための検討資料として、首里杜地区におけるコロナ前後の交通環境の分析比較を行った。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	早期のシェアサイクルポートの設置に向けて、事業主体と更なる連携が必要である。 人々の移動(モビリティ)に関する「行動変容」を促すマネジメント施策を推進するためには、最適であろうと考えられる各種技術を取り込む必要がある。 交通環境の比較を実施するにあたり、継続的な基礎データの収集が必要である。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

図 3-42 データプラットフォームのイメージ

シェアサイクルポート利用状況収集・分析

ステーション名	回/日
1 首里IAポケットパーク	7
2 牧志駅西口	6
3 興行前駅東口エレベーター前	4

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	35	計画/評価年度	令和5年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ②安全・安心で歩きたくなる市街地の形成		
事業名	龍潭線街路整備事業	事業主体	県(道路街路課)
事業期間	平成11年度～	関係機関	沖縄県首里城復興課 沖縄県文化財課 ほか
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興公共投資交付金・道路事業(街路)		
事業概要	首里城公園へのアクセスの要所である龍潭線について、街路整備や電線共同溝整備を実施し、慢性的な交通渋滞の解消と安全で快適な歩行空間の確保等を図る。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前期(5年)					後期(5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
<div style="border: 1px solid orange; padding: 2px; display: inline-block;">拡幅整備(平成11年～)</div> →					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	鳥堀交差点付近の街路整備工事を実施する。 中城御殿前の電線共同溝設計を関係機関と連携して実施する。
----------	------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	鳥堀交差点付近の街路工事を実施した。 中城御殿前の電線共同溝設計を関係機関と連携して実施した。
進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	一括交付金が減少傾向にあり予算の確保が困難な状況にあるが、令和8年度の首里城正殿の復元に合わせて、計画的に予算を配分し概成させる。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

Map showing traffic volume data at various points along the Ryutan Line:

- 鳥堀交差点: 38,697台/日 (H27セ/サス)
- 中城御殿前: 21,875台/日 (H27セ/サス)
- 山川交差点: 7,809台/日 (H27セ/サス)
- 首里南校前: 6,329台/日 (H27セ/サス)

Technical drawing and photograph of the street improvement project:

- 道路規格: 4車線
- 道路幅員: 12.15m
- 設計速度: 40km/h
- 車線数: 2車線

2. 【那覇市】令和5年度事業計画・評価シート

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	1	計画/評価年度	令和5年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ①良好な景観形成の推進		
事業名	住民による修景整備(赤瓦、石垣、緑化等)への助成制度 (龍潭通り沿線地区、首里金城地区)	事業主体	那覇市 都市計画課
事業期間	平成6年度～	関係機関	
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 地域居住機能再生推進事業補助金(街なみ環境整備事業)		
事業概要	都市景観形成地域に指定している、首里金城地区及び龍潭通り沿線地区における建設工事等において、都市景観の形成に著しく寄与すると認められる行為に係る経費の一部(琉球赤瓦や琉球石灰岩等による修景費用)に対し、助成金を交付する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前期 (5年)					後期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
運用中 龍潭通り沿線地区(2003年～)、首里金城地区(1994年～)					→

【当該年度計画】

今年度の取組内容	歴史的景観に調和した良好な景観形成を図るため、伝統的な素材である琉球赤瓦や琉球石灰岩等による景観形成を図る。特に、都市景観に著しく寄与する行為について、経費の一部を助成し推進する。
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	令和5年度: 首里金城地区:助成件数(※) 2件 龍潭通り沿線地区:助成件数 0件 (※)那覇市都市景観条例第29条に基づく助成
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】景観形成地域指定から20年以上が経過し、赤瓦屋根の修繕時期を迎える建物も増えてきている為、漆喰塗り替え等の大規模な修繕行為についても、助成が可能であることを広く周知する必要がある。 【対応方針】助成等に関するパンフレットの各戸配布と共に、建築関連団体への周知を図る。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



都市景観形成イメージ



首里金城地区



龍潭通り沿線地区

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	2	計画/評価年度	令和5年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ①良好な景観形成の推進		
事業名	都市景観形成地域指定によるまちなみ誘導 住民による修景整備への助成制度の拡充 (ニシカタ地区、首里三箇地区)	事業主体	那覇市 都市計画課
事業期間	(計画中)	関係機関	
首里杜まちづくり 推進協議会	<input checked="" type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input checked="" type="checkbox"/> 準備中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】(仮予定)沖縄振興特別推進交付金 (仮予定)社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
事業概要	首里らしい歴史的・伝統的景観を保全するとともに良好な景観形成を促進するため、地域との合意形成や情報共有を図り、新たな都市景観形成地域の指定に取り組む。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
調査、景観形成基準検討、合意形成				景観計画変更、条例改正	運用

【当該年度計画】

今年度の取組内容	都市景観形成地域の指定に向けて、地域関連団体との協議をおこなう。
----------	----------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	ニシカタ地区内の戸建住宅にお住まいの方を中心に、「景観まちづくりに関するアンケート調査」を実施した。【配布数:687件 回収数:222件 回答率:32.7%】 また、アンケート回答者及び、関連団体の方々を中心に、アンケート結果報告を兼ねた「ゆんたく会」を開催した。【参加者:34名(内見学:2名)】
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上/2. 60～79%/3. 40～59%/4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】 テーマ活動により、関係権利者となる住民の意向聴取や課題等の共有を図ることができたが、その対象は限定的であったことが課題となっている。 【対応方針】 今後は、意向を確認できなかった方々も含め、指定範囲や詳細な整備基準等に関して、より具体的に調整を進める段階に移行する必要があることから、次年度以降は、その準備期間とし、本市内部での取り組みとして課題解決を含めた今後の対応について見直しを図る。 なお、関連団体、自治会等とは引き続き、意見交換・情報共有を図っていく。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	6	計画/評価年度	令和5年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ①良好な景観形成の推進		
事業名	首里杜地区歴史散歩道の整備事業	事業主体	那覇市 道路建設課
事業期間	令和6年度～令和13年度(調整中)	関係機関	那覇市 道路管理課
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input checked="" type="checkbox"/> 準備中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興特別推進交付金(仮)		
事業概要	首里杜地区において琉球王朝時代の歴史を感じ、楽しく歩けるよう歴史・文化遺産をつなぐ歴史散歩道(カラー・石張舗装・道標等)を整備する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前期 (5年)					後期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
取り組み内容、スケジュールの検討	調査・合意形成・設計・整備				

【当該年度計画】

今年度の取組内容	事業化に向けて沖縄振興特別推進交付金の予算要求を行う。
----------	-----------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	事業化に向けて、沖縄振興特別推進交付金の令和6年度予算要求を行った。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	協議会等で地域の求めるゾーニングや周遊ルートが定まっていないことから、令和6年度に首里杜地区歴史散歩道の整備計画(路線の選定)の策定に向けて進められるか懸念される。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

 <p>整備事例(赤田北線)</p>	 <p>情報整理(市道、歴道、湧水)</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	7	計画/評価年度	令和5年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ①良好な景観形成の推進		
事業名	首里金城地区細街路整備事業	事業主体	那覇市 道路建設課
事業期間	平成18年度～令和5年度(事業認可期間)	関係機関	那覇市 都市計画課
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興公共投資交付金(街路事業)		
事業概要	首里金城地区は、石畳道、石垣、共同井戸や、赤瓦、屋門をもつ家屋等まちそのものが優れた歴史資源であるとともに多くの文化遺産を有している。このような首里金城地区の歴史的まちなみを保全・復元し、これらを取り囲む地域の生活環境基盤整備を図るため、歴史的地区への誘導路整備、歴史のみちすじの整備等を行う。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
整備中(2006年～)					→



【当該年度計画】

今年度の取組内容	用地取得、物件(工作物)補償及び整備工事等
----------	-----------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	当初、現状維持を予定していた石積擁壁に孕みが発見されたことから、R4に実施設計を行い、工事に向け準備を進めていたところであったが、文化財調査の必要があり、R5は文化財調査を行った。R6に工事を予定。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】事業を開始して15年以上経ち、既存石積の経年変化が見られるようになってきていること。また、電線共同溝の合意路線となったことから整備に更に時間を要する。 【対応方針】新たに整備(擁壁新設)箇所が増えることから実施設計を追加し、対応する。狭隘な場所での電線共同溝となるので、電線管理者と連携をとりながら整備方針について検討していく。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

 <p>整備イメージ</p>	
---------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	8	計画/評価年度	令和5年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ②水と緑の保全・再生・活用		
事業名	水資源有効利用推進事業	事業主体	那覇市 環境保全課
事業期間	(事業中)平成12年度～令和13年度	関係機関	
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	市単独事業:那覇市水資源有効利用推進要綱より		
事業概要	水資源の有効利用及び地下水涵養のため、新たに建築物を建築しようとする者に対し、「水資源有効利用・節水計画書」の提出を求め、雨水の利用や地下への浸透を促し、地下水の涵養に関する市民意識の普及に努めています。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
新築建物に対し「水資源有効利用・節水計画書」の提出(2000年～)					→

【当該年度計画】

今年度の取組内容	新たに建築物を建築しようとする者に対し「水資源有効利用・節水計画書」の提出を継続している。今後も申請を通じて水資源の有効活用・地下水の涵養に関する市民意識の普及に努めていく。
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	水資源有効利用・節水計画書の件数はR6年2月末時点で310件です。申請件数としては例年と同様に推移していると考えられる。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	水資源の有効利用・節水及び地下水の涵養へ意識啓発を図るため「水資源有効利用・節水計画書」の提出を継続して行い、今後も関係機関と連携し取組んでいきます。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

水資源有効利用・節水計画書(様式)

水資源有効利用・節水計画書
(第1面)

申請者住所氏名 氏名 印
住所 Tel

代理人住所氏名 氏名 印
住所 Tel

建築士事務所氏名 経理士登録番号 経理士事務所登録番号

敷地地名地番 那覇市

用途

工事種別 新築・増築・改築・移転・その他

計画 敷地面積 m²

構造 建築面積 m² (増築部分) m²)

階数 延べ面積 m² (増築部分) m²)

階数 地上 階 地下 階

※ 受付 日 月 年 日 課長 係長 担当

第 号

係員印

令和5年度水資源有効利用・節水計画書の提出件数：310件 (R6.2月末)

(首里杜地区内は17件)

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	9	計画/評価年度	令和5年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ②水と緑の保全・再生・活用		
事業名	湧水等を活用した交流スペース等の整備	事業主体	那覇市 道路建設課
事業期間	令和7年度～令和13年度(調整中)	関係機関	那覇市 都市計画課
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input checked="" type="checkbox"/> 準備中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興特別推進交付金(仮)		
事業概要	首里杜地区は本市の高台に位置しており、三方を河川に囲まれ地区内には湧水が多く、水が豊かな地区となっている。 樋川や井泉の多くは古くから飲み水や生活用水として利用され、また、地域住民等の祈りの場、交流の場として活用されてきており、人々が憩い集えるスペース(広場)等の整備を行う。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前期 (5年)					後期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
取り組み内容、スケジュールの検討	調査・合意形成・設計・整備				

【当該年度計画】

今年度の取組内容	部会参加・地域資源調査等の情報収集、事業手法の検討及び事業化に向けて予算要求を行う。
----------	--------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	部会参加・地域資源調査等の情報収集を行い、事業手法の検討及び事業化に向けてR7年度以降の予算確保に取り組んだ。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	地域資源調査の結果と、ゾーニング、周遊ルート等がまだ定まっておらず、具体的な整備箇所の検討は出来ていない。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

 <p>ヤマトガー</p> <p>イメージ</p>	 <p>湧水の情報収集(位置)</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	10	計画/評価年度	令和5年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ②水と緑の保全・再生・活用		
事業名	地区内緑化の推進	事業主体	那覇市公園管理課、 沖縄県緑化推進委員会 那覇支部
事業期間	令和4年度～令和13年度	関係機関	
首里杜まちづくり 推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金) 【市単独事業】緑化推進事業 【沖縄県緑化推進委員会那覇支部事業】那覇市緑化推進事業の支援		
事業概要	那覇市在住の個人・団体を対象に草花苗等を提供し、緑のまちづくりを推進する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
緑地保全・再生方策等の検討・実施					→

【当該年度計画】

今年度の取組内容	<p>1 植樹の支援 緑化に対する意識を向上し、緑豊かな街並み形成を推進するため、自治会・通り会・学校等の公益的な団体が行う緑化推進や地域活性化を目的とした植樹に対し支援を行う。</p> <p>2 樹木苗の配布 市内の公共公益施設の緑化を推進するため、樹木及びつるの性種の苗木等の配布を行う。</p> <p>3 草花苗の配布 「花いっぱい運動」を推進するため、草花の苗等の配布を行い支援する。 首里杜地区内における実績は、1件(300鉢)。</p>
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	今年度、各種案内用のホームページを更新し、地区内においては、自治会等の団体へ草花苗を配布した。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	地区内の沿道景観の向上に資することから、緑化推進にかかる市民活動について、引き続き支援する。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	12	計画/評価年度	令和5年度
施策	古都首里を感じる空間の創出 ③共創の景観まちづくりの推進		
事業名	那覇の景観賞	事業主体	那覇市 都市計画課
事業期間	昭和61年度～	関係機関	
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【市単独事業】単費		
事業概要	那覇らしい都市の景観をまもり、そだて、さらに新しい那覇らしさをつくりだし、自らが住み、働き、憩う、私たちの都市を個性豊かで、快適なものにするための「都市景観賞」を設け、都市景観に調和し風格のある街並みを形成している魅力ある建築物、道路、工作物、屋外広告物、広場、景観づくり活動などを公募し、表彰する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)	
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度	
表彰・シンポジウムによる啓発(1986年～) →						

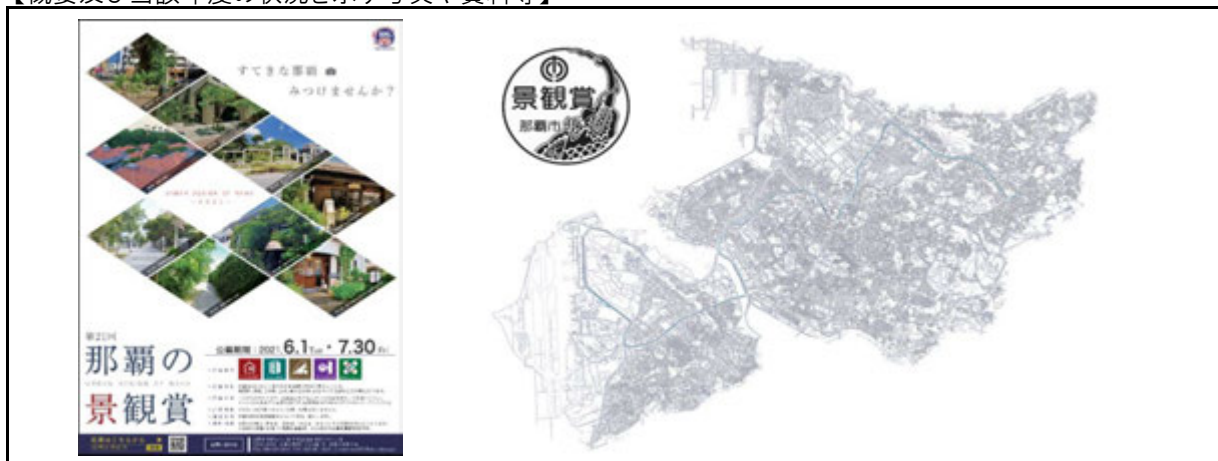
【当該年度計画】

今年度の取組内容	令和6年度の開催に向けた事前準備を整える。
----------	-----------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	令和5年度は、事前準備として周知ポスター及び応募書類の作成を行った。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	多数の応募が必要なことから、庁内、関係団体のみならず、教育機関(学校等)、市内商業施設等へ協力を仰ぎ、広く周知を図る。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	13	計画/評価年度	令和5年度
施策	歴史文化資源等の保全・整備・活用 ①幅広い歴史文化資源の再評価と保存・活用		
事業名	歴史文化基本構想等の策定検討	事業主体	那覇市 文化財課
事業期間	(事業予定)令和4年度～令和13年度	関係機関	
首里杜まちづくり推進協議会	<input checked="" type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	市単独		
事業概要	首里地区の歴史文化まちづくり構想に資するため、那覇市における文化財保護の基本的方針となる計画の策定を検討する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前期 (5年)					後期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
構想・計画の策定の検討					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	歴史文化基本構想等を策定するにあたり、地域における文化財の総合的な保存及び活用に係る基本的な計画及び個別の保存活用計画、また日本遺産認定制度等の関連する計画等の関連を整理するとともに、あわせて真和志、小禄、旧那覇地区の文化財に関する方針も検討する必要がある。他自治体の動向も参考にし、整理検討を行う。
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	首里地域における史跡等の文化財の現状確認を行うとともに、識名園で行っている保存活用計画策定事業を参考に、首里地域の文化財の保全及び活用の検討を行った。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input checked="" type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	課題: 計画策定の事業化 対応等: 地域会議等を通して、地域の声を徴取

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

<p>別添参照 (参考: 長崎市歴史文化基本構想)</p>	
-----------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------

参考：長崎市歴史文化基本構想より抜粋

(2) 歴史文化基本構想の位置付け

本構想は、「長崎市第四次総合計画」(平成23年3月策定)の基本施策「A1 歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます」に基づいて策定するものであり、都市計画や景観計画等のまちづくりに係る計画と連携・調整・相互補完を図りながら進めていく方針として定めるものである。

また、前述のように、長崎市の文化財の保存・継承・活用やまちづくりを推進するためのマスタープランとして、各文化財の保存や整備に係る計画等の上位に位置付けられる。

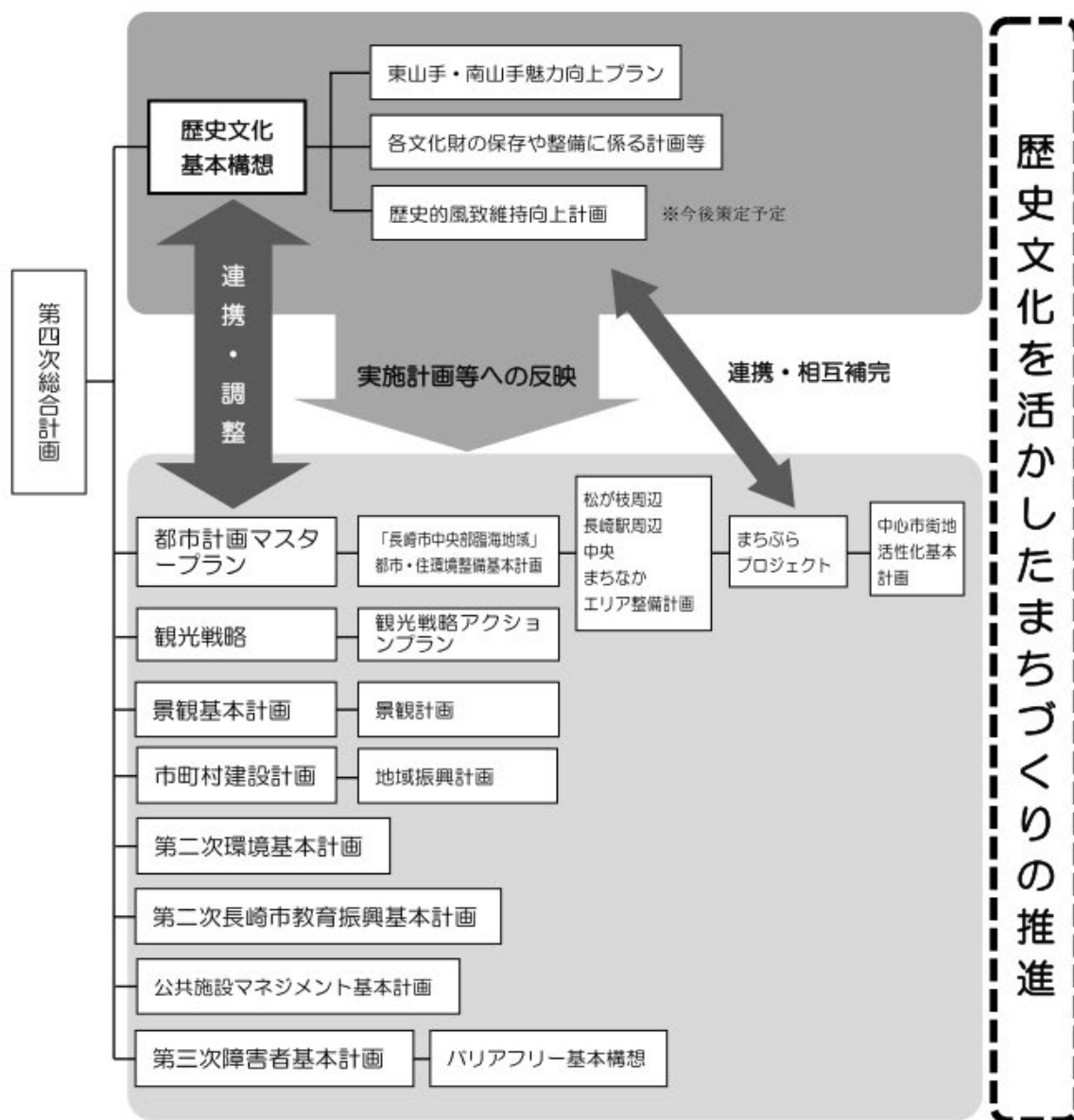


図 1-1: 歴史文化基本構想の位置付け

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	14	計画/評価年度	令和5年度
施策	歴史文化資源等の保全・整備・活用 ①幅広い歴史文化資源の再評価と保存・活用		
事業名	近現代の歴史文化資源(戦跡含む)の調査	事業主体	那覇市 文化財課
事業期間	随時	関係機関	
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【埋蔵文化財発掘調査受託事業収入】 那覇市内遺跡発掘調査		
事業概要	開発に伴う建築・建設工事の前に試掘調査を実施し、埋蔵文化財の有無を確認する。埋蔵文化財が出土した場合の発掘調査を行う。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前期 (5年)					後期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
調査の検討(必要に応じ実施)					→

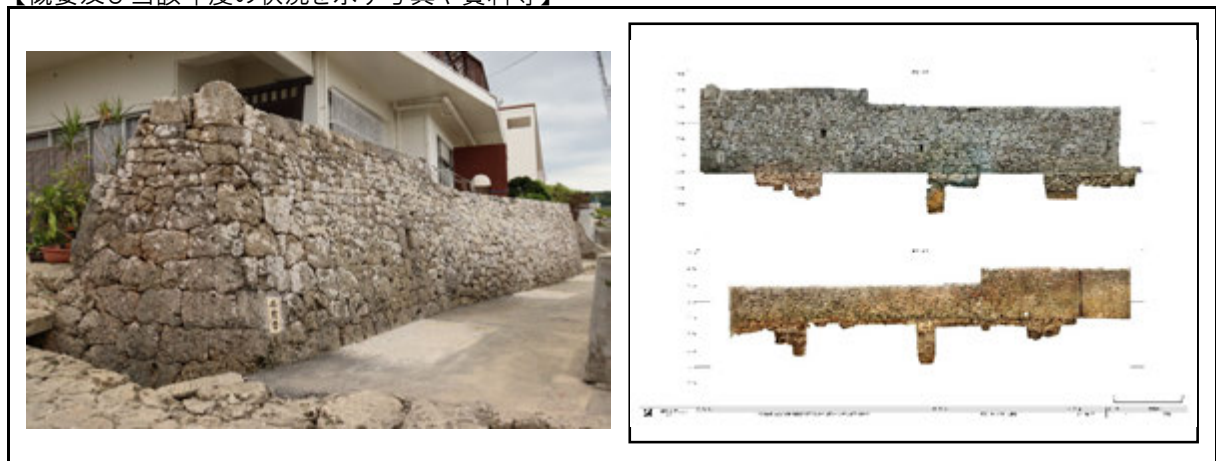
【当該年度計画】

今年度の取組内容	首里金城町細街路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査。
----------	---------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	那覇市道路建設課による擁壁工事に伴う石積の記録保存を目的とした発掘調査を実施した。調査は委託業務として実施し、12月で完了済み。
進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	令和6年度以降に西線交通広場隣接地で個人宅および那覇市道路建設課の工事に係る発掘調査が必要となる見込み。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	19	計画/評価年度	令和5年度
施策	歴史文化資源等の保全・整備・活用 ②拠点資源および周辺の保全・復元・整備		
事業名	伊江殿内庭園保存整備事業	事業主体	那覇市 文化財課
事業期間	(事業中)平成15年度～令和8年度	関係機関	文化庁
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業 伊江殿内庭園保存整備事業		
事業概要	伊江殿内庭園は、琉球王府時代の上流階級の庭園としての価値が認められ、昭和61年に名勝伊江殿内庭園として国の文化財指定を受けた。文化財指定後には平成15年より保存整備事業に着手しており、令和8年度に事業完了を予定。整備完了後は一般公開を予定している。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前期 (5年)					後期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
整備中(2003年～)					→

【当該年度計画】

今年度の取組内容	園地の基本設計及び擁壁の実施設計。
----------	-------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	園地の基本設計、擁壁の実施設計及び主庭部の整備工事を実施している。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	今後も伊江殿内庭園の公開に向け、主庭部及び園地に係る整備を実施していく。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	20-2	計画/評価年度	令和5年度
施策	歴史文化資源等の保全・整備・活用 ②拠点資源および周辺の保全・復元・整備		
事業名	指定文化財周辺の環境整備	事業主体	那覇市 文化財課
事業期間	(事業中)平成15年度～令和8年度	関係機関	
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】天然記念物再生事業 首里金城の大アカギ再生事業		
事業概要	国の天然記念物に指定され、観光資源として多くの観光客が訪れる首里金城の大アカギだが、樹勢衰退が確認され、さらに令和2年からココバイによる害虫被害が確認されていることから、樹勢診断及び樹勢回復業務を実施。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前期 (5年)					後期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
整備等(必要に応じ実施) →					

【当該年度計画】

今年度の取組内容	樹木医指導のもと樹勢回復(縦穴式土壌改良)を行うことで、大アカギへ活力を与え樹勢を回復することで、害虫への対抗性を高める。
----------	---------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	樹木医指導のもと樹勢診断を行い、樹勢回復業務を実施した。
進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	台風6号通過後にココバイの影響が見られなくなった。しかしながら令和5年12月頃に再びココバイの発生が確認された。次年度も引き続き樹勢診断及び樹勢回復業務を実施していく。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	21-2	計画/評価年度	令和5年度
施策	歴史文化資源等の保全・整備・活用 ③歴史文化的資源の魅力向上や新たな資源の創出		
事業名	地域資源の調査及び修景等	事業主体	那覇市 都市計画課
事業期間	(計画中)	関係機関	
首里杜まちづくり推進協議会	<input checked="" type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input checked="" type="checkbox"/> 準備中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】(仮予定)沖縄振興特別推進交付金		
事業概要	首里杜地区における歴史文化資源調査及び修景整備等を行う。 首里城及びその周辺エリアにおいて、地域の歴史文化資源の整理をおこなうとともに、市民との協働の取り組みにより身近な資源や新たな資源の発見や再評価をおこなう。また、これらの資源の周辺環境を含めた整備や修景に取り組むことで歴史と調和した景観の創出を図り、これらの資源をつなぎ活用したまちづくりを推進する。 事業スケジュール ○令和7年度以降：歴史文化資源の調査設計業務等		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前期 (5年)					後期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
取り組み内容、スケジュールの検討	調査・設計・修景整備等(順次実施)				

【当該年度計画】

今年度の取組内容	調査業務の内容および取組スケジュールの検討を行う。
----------	---------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	関連事業の把握(※1)を行うとともに、具体的な取組内容及び事業スケジュールの検討を行った。 (※1)部会テーマ活動②地域資源案内検討への参加。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input checked="" type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】 地域資源には、個人所有の資源も多いことや、類似事業が実施されていることから、地域資源の修景方針に作成にあたっては、関係者との密な調整や連携が必要となる。 【対応方針】 関係者との情報共有を密に行う。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区全域

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	26	計画/評価年度	令和5年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	乗合タクシー等のデマンド交通による移動手段の提供	事業主体	那覇市 都市計画課
事業期間	(事業予定)令和7年度～	関係機関	公共交通事業者
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	実態把握や需要調査、公共交通事業者や地域住民の意見等の調査を実施。		
事業概要	首里杜地区における公共交通不便地域を対象とする移動手段の確保のため、乗合タクシー等のデマンド交通の運行を検討する。 事業スケジュール ○令和7年度～: 需要調査、実施手法の検討		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
			需要調査、実施手法の検討		


【当該年度計画】

今年度の取組内容	特になし
----------	------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	—
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input checked="" type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	—

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

	
-------------------------------------------------------------------------------------	--

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	29	計画/評価年度	令和5年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	シェアサイクル等の促進(自転車利用促進策)	事業主体	那覇市 都市計画課 ・民間事業者
事業期間	～令和6年3月29日	関係機関	沖縄県 交通政策課
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	那覇市シェアサイクル事業		
事業概要	那覇市交通基本計画に掲げる『誰もが移動しやすいまちをつくる』を基本目標とした施策の一つである『多様な移動手段の利用環境の向上・充実』の実現に向け、公共交通の機能を補完する新たな交通サービスとしてシェアサイクルの利用を促進することにより、市民や来街者の利便性・回遊性など移動環境の向上と充実を図るため、本事業を実施する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
運用中					運用中・サービス規模の向上検討

【当該年度計画】

今年度の取組内容	首里杜地区内のシェアサイクルポートについて、利用状況の確認を行いながら、ポート拡充に取り組む。
----------	-------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	令和5年度実績 首里杜地区内4箇所シェアサイクルポートの設置。 (令和4年度実績:4箇所、計8箇所)
進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上/2. 60～79%/3. 40～59%/4. 39%以下)
課題と対応方針	首里杜地区内においては、道路が狭小で起伏も激しいことから、シェアサイクルポート設置等の自転車利用促進にあたっては、安全安心な歩行者・自転車利用環境が課題となる。そのため、今後はシェアサイクル利用状況を確認しながら、事業者と連携してポート拡充に取り組む予定。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

【R4実績】

- ③山川交差点(5ラック)
- ①県立芸術大学横(5ラック+3ラック)
- ②首里城南口(5ラック)
- ④JA隣ポケットパーク(5ラック)

【R5実績】

- ④儀保駅東口(2ラック)
- ②首里駅北口(5ラック)
- ③儀保駅西口(2ラック)
- ①首里駅南口(6ラック)

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	30	計画/評価年度	令和5年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善		
事業名	モビリティ・マネジメント	事業主体	那覇市 都市計画課
事業期間	実施中	関係機関	那覇市教育委員会
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	交通に対する意識改革・意識啓発イベント等の実施。公共交通ハンドブックの活用や出前講座の実施などにより自家用車以外の交通手段への転換を図る。		
事業概要	様々な手段や媒体を通して、自家用車に頼りすぎない暮らしを推進するための意識啓発活動を実施する。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前期 (5年)					後期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
モビリティ・マネジメント、交通マナーの啓発					→

【当該年度計画】

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・那覇市立小学校及び中学校に、MM動画の活用促進 ・意識啓発イベントへの参加や、公共交通に関するパネル展を実施 ・那覇市への転入者等に対して、那覇市公共交通ハンドブックを無料配布 ・小学生を対象に、動画教材を用いた出前講座を実施
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・那覇市立小学校及び中学校にMM動画の活用依頼を実施(令和5年4月) ・本庁舎1階にて公共交通に関するパネル展を実施(令和5年9月) ・ひやみかちなはウォークにて公共交通に関するパネル展を実施(令和5年11月) ・那覇市役所などにおいて、那覇市公共交通ハンドブックを無料配布(10,000部) ・市内小学校4校にMM動画教材を用いた出前講座を実施(令和5年11月)
進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	—

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	34	計画/評価年度	令和5年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ②安全・安心して歩きたくなる市街地の形成		
事業名	景観に配慮した生活道路の交通安全対策	事業主体	那覇市 道路管理課 那覇市 道路建設課
事業期間	令和5年度～	関係機関	
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input checked="" type="checkbox"/> 準備中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	【補助事業】社会資本整備総合交付金、沖縄振興特別推進交付金(仮) 交通安全対策特別交付金		
事業概要	(仮)首里杜地区内において、自動車の速度や交通量の抑制、安全な歩行空間の確保を図るため、ハンプなどの物理的デバイスの設置や路肩の着色など、景観に配慮した交通安全対策に取り組む。なお、外側線の設置など、必要な対策についてはこれまで通り適宜進めていく。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前期 (5年)					後期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
危険箇所把握・対策検討・整備等(順次実施)					


【当該年度計画】

今年度の取組内容	各小学校区スクールゾーン委員会と実施した合同点検や地域住民等からの交通安全に関する要望について、関係機関と調整を行い、対策案を検討する。また、緊急性が高い箇所については、早期に対策を実施する。 なお、路肩の着色等に関する対策については、色彩についてデザインアドバイザーなどの意見を伺いながら、景観に配慮した交通安全対策を実施する。
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	交通安全対策について、各小学校からの要望やワークショップでの意見を踏まえて、対策案を検討中であり、崎山5号や赤田中央線の路肩着色の要望が上がっている。色彩については、寒川3号の路肩着色の施工に合わせて景観アドバイザーと進め方の調整を行った。色彩が決定したら他路線への適用も検討する。外側線の設置など、必要な対策については、適宜進めている。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	首里杜地区内における色彩については、景観に配慮するよう意見もあることから、必要に応じて景観アドバイザーの活用等により色彩を検討中であり、令和6年度に実施予定の寒川3号路肩の着色については、景観アドバイザーと施工前に色彩のサンプルを確認したうえで施工を予定している。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】

<p>【安心安全な歩行空間の整備の例】</p>  <p>【生活道路のエリア内の交通安全の例】</p>  <p>景観に配慮した事例</p> 	<p>ワークショップ</p> 
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	36	計画/評価年度	令和5年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ②安全・安心で歩きたくなる市街地の形成		
事業名	都市計画道路大中細街路	事業主体	那覇市 都市計画課 那覇市 道路建設課
事業期間	未定	関係機関	
首里杜まちづくり推進協議会	<input type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input checked="" type="checkbox"/> 準備中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	沖縄振興公共投資交付金・街路事業(仮)		
事業概要	都市計画道路大中細街路は、戦後、自動車社会の到来や、急速な市街化が進む当時の社会情勢のもと、地域内の交通処理や土地利用の誘導を目的として、昭和35年に都市計画決定されたが、交通処理機能上重要な幹線道路の整備を優先的に進めてきたため、未だ事業化に至っていない。その間、地域の交通環境に変化が生じ当初計画を見直す必要が出たため、平成28年度より地域の方々と意見交換等を行い、当初計画を見直す方針とした。 今後当該方針を踏まえ、都市計画道路の廃止及び、一部区域や幅員の変更を行う予定である。 【路線概要(令和4年3月末時点)】 路線数:19路線(9m幅員:2路線、6m幅員:8路線、4m幅員:9路線) 延長:約3,222m(9m幅員:約752m、6m幅員:約1,656m、4m幅員:約814m)		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
都市計画 変更	事業手法の検討、事業認可手続き、事業実施等(順次実施)				


【当該年度計画】

今年度の取組内容	事業実施時期の検討
----------	-----------


【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	事業実施時期の検討を行った。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input checked="" type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え:1. 80%以上/2. 60～79%/3. 40～59%/4. 39%以下)
課題と対応方針	【課題】現在、首里金城地区細街路事業を実施中であり、完了の目途が立っておらず、大中細街路の事業着手の時期が定められない状況にある。 【対応方針】首里金城地区細街路事業を推進し、完了の目途を立てる。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



令和4年4月19日
都市計画の変更



情報整理 (市道、大中細街路、湧水)

首里杜地区整備基本計画 事業計画・評価シート

事業No	37	計画/評価年度	令和5年度
施策	暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり ③伝統産業の継承や新たな賑わいの創出		
事業名	まち歩き観光の促進	事業主体	那覇市 観光協会
事業期間	(実施中)平成24年度～	関係機関	那覇市 観光課
首里杜まちづくり推進協議会	<input checked="" type="checkbox"/> (大)連携が特に必要な事業 <input type="checkbox"/> (中)連携が部分的に必要な事業 <input type="checkbox"/> (小)情報共有し、必要に応じ連携を図る事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 準備中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済み
事業手法 事業名	沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金)		
事業概要	市内のモルール駅、観光拠点施設等(スタート地点)を出発地に、地元ガイドと共に地域の資源を見てまわる「まち歩き」を行い、地元ガイドとのふれあいによる市内観光の満足度を高めるとともに、市内周遊の促進、滞在時間の延長、それらに伴う消費機会の拡大による地域活性化などを目的としている。		

【取り組みロードマップ】※首里杜地区整備基本計画より

前 期 (5年)					後 期 (5年)
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9～13年度
まちま～いの企画・実施(継続)					→

【当該年度計画】

今年度の取組内容	旅行形態が団体旅行から個人旅行にシフトしていることへの対応、修学旅行の取り込み強化、欧米のインバウンドに絞った、外国語対応ガイドの確保及びコースの検討に取り組む。市内周遊促進及び市内滞在時間の延長に資する事業として、安定した運営が継続できるよう収益安定化に努める。
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【当該年度評価】

定量的・定性的評価(自由記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度10月よりキャッシュレス決済を導入し、そのタイミングで「まちま～い」の参加料金を1名1,000円から1,600円に上げたが、大きな問題もなく移行できた。 ・昨年は、全国旅行割の反響で参加者数が大きく伸びたが、今年度は台風や事務所移転等もあり、夏季(8～10月)の取り込みに苦戦した。
進捗状況	<input type="checkbox"/> 1. 想定通り順調 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 概ね順調 <input type="checkbox"/> 3. やや遅れ <input type="checkbox"/> 4. 遅れ(又は未着手) (対予定の考え: 1. 80%以上 / 2. 60～79% / 3. 40～59% / 4. 39%以下)
課題と対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は全国旅行割の影響もあり参加者が急増したが、今年度は参加人数が伸び悩んでいる状況。コロナで休止していた大型団体の受入再開に向けて、ガイド養成・研修等を実施しており、年度内には修学旅行含め予約受付を再開する方向。 ・次年度より、インバウンド向け英語版まちま～い(名称:Naha Walking Tours)を導入し、米軍基地等への広報に積極的に取り組んでいく。

【概要及び当該年度の状況を示す写真や資料等】



